

平成 29 年度入省予定 環境省総合職理工系

内定者の声



はじめに

本紙は環境省総合職理工系内定者（H29 年 4 月入省予定）が自主的に制作したものです。幅広い人材を求める環境省を皆様に知っていただくこと、環境省に興味を持っていただくこと、国家公務員を志す受験者の参考となること、を目的に制作する運びとなりました。ここに示した内定者の経験が皆様の進路選択の一助となれば幸いです。

平成 28 年 12 月

環境省総合職理工系内定者 一同

《本紙構成》

第一部 内定者プロフィール

基本データ

（学科/専攻、学歴・性別・年齢、試験区分、国家公務員試験合格年度など）

自己紹介

志望動機

環境省を志望される方へのメッセージ など

第二部 内定者の国家公務員採用総合職試験 体験記

勉強量について

勉強内容・試験内容について

第三部 内定者の官庁訪問 体験記

※HP でも公開しております。

《付記》

本紙内容に関する責任は、全て製作者である内定者にあります。また、各人の考え方、勉強法などはあくまで個人的な見解です。ご理解の上、ご覧ください。また、次年度以降の採用試験では、試験日時や英語試験の活用など、H28 年度試験と一部違いが見られる場合もございます。ご注意ください。詳しくは人事院 HP でご確認ください。

第一部 H29 年度 総合職理工系内定者のプロフィール

H29 年度に入省する予定の総合職理工系内定者は、全 7 名となりました！内定者はそれぞれが環境問題に関心を持っています。その関心の持ち方や志望動機が一人ひとり違うなと編集していて思いました。

第一部では、内定者のプロフィールや志望動機、そして本紙を読んでもらっている皆様に向けたメッセージを記載しています。また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者の PN（ペンネーム）を記載しております。

7 名全員がそれぞれ違った個性的なキャラクターをしているので、本紙を読まれた皆様に環境省が求める人材の多様性について感じていただければと思います。

H29 年度 総合職理工系内定者の内訳

《男女比》



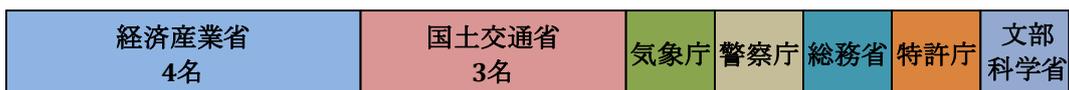
《学歴》



《官庁訪問時の初回訪問日》



《併願省庁》



各1名

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

PN : くろ

基本データ
【大学所在地・学科/専攻】 宮城県・理学研究科 地学専攻
【学歴・性別・年齢】 修士新卒・女性・24 歳
【試験区分】 数理科学・物理・地球科学（院卒）
【国家公務員試験合格年度】 平成 28 年度
【試験席次】 ギリギリ
【英語加点の有無】 無
【説明会参加回数】 7～8 回
【特に印象に残っている説明会等のイベント】 政策教室
【併願した省庁（第一クール訪問順）】 国土地理院・国土交通省→気象庁→環境省

【就活のスケジュール】

時期	内容
修士 1 年 8 月	国土地理院インターンシップ参加。
修士 1 年 秋頃	ちょこちょこ勉強開始。
修士 1 年 2 月	民間企業インターンシップ参加。
修士 1 年 3 月	民間企業就活スタート。
修士 2 年 5 月	公務員試験を受ける。
修士 2 年 6 月	民間企業から内々定を頂く。
修士 2 年 8 月	環境省から内々定を頂く。
修士 2 年 10 月	環境省から内定を頂く。

※政策教室：環境省において本年は 6 月に開催された説明会の一貫。ステークホルダーの立場に立ったロールプレイングや、グループディスカッションを通じた政策立案が経験できる。

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

【私はこんな人です】

- 長野県出身で、大学進学を機に宮城県へ。
- 緑豊かなキャンパス（熊の目撃情報多数）で地学を専攻。
- 大学では交響楽部に所属して、ヴァイオリンを弾いていました。
- ウサギが好きです。
- 京都も好きです。
- 恐竜もかっこいいと思います。
- 日本酒っておいしいと思います。

【志望動機】

私が環境省を志望したのは、環境保全と人間の豊かな社会生活に貢献したいと思ったからです。元々環境アセスメントに興味をもっていたため、民間企業のインターンシップに参加させていただきました。その経験から、環境保全をただ単に自然に手をつけないこととするのではなく、自然と共生するような社会を構築することとする必要があると感じました。

官庁訪問を通じ、再生可能エネルギーの導入に強い関心をもつようになりました。地域ごとの特色を活かした、地産地消、地域自立型の再生可能エネルギーの導入に携わりたいと考えています。

また、一口に環境といっても、そのフィールドはものすごく広く、知らないことばかりです。環境を取り巻く様々な事柄について、幅広く知っていきたいと思っています。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

私が就活をして思ったのは、興味のあることに対しては行動してみるべきだということです。考えて行動することももちろん大切ですが、行動した結果から考えることで得られるものも大きいと思います。民間企業の就活もしましたが、その過程で自分が興味のあるもの、将来やってみたいことが段々はっきりしてきました。それは今後生きていく過程で色々なことを知り、経験していくうちに変わっていくものだと思いますが、就活を通し、そうして少しずつ人生を歩んでいくのだなと思うようになりました。

自分が何に興味があるのか、分からなくなるときもありましたが、周りの人に話を聞いてもらうだけで気持ち的にすごく楽になりましたし、人に話すことで自分の中で整理をつけていくことができた気がします。

とにもかくにも、考えても分からないことは溜め込まず、どんどん人に話すとよいと思います。あと、やっぱりご飯はちゃんと食べないと、元気が出ません。いっぱい食べましょう。

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

PN：セブ島

基本データ
【大学所在地・学科/専攻】東京都・創造理工学部 社会環境工学科
【学歴・性別・年齢】学部既卒・男性・24 歳
【試験区分】工学（大卒）
【国家公務員試験合格年度】平成 28 年度
【試験席次】上の下
【英語加点の有無】なし
【説明会参加回数】4 回
【特に印象に残っている説明会等のイベント】 サマーインターン、JOB トーク
【併願した省庁（第一クール訪問順）】 環境省→経済産業省→警察庁→総務省

【就活のスケジュール】

時期	内容
2015 年 8 月	前職を退社。環境省を志望するか海外でボランティア活動をするか悩む。
2015 年 9 月～	世界各地を旅。日本から見えるものと世界から見えるものの違いを感じる。
2016 年 3 月	第一志望を環境省に決めて勉強を始める。
2016 年 4 月～	せっかくの機会なので他の省庁の説明会にも積極的に参加する。
2016 年 8 月	環境省から内々定をいただく。

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

【私はこんな人です】

- 明るくて元気！趣味は登山、旅行、自転車。
- 大学では地盤系の研究室に所属し、液状化対策の研究を行っていました。
- 前職があり、インフラ業界で働いていました。

【志望動機】

- 環境に興味を持ったきっかけ

小学生の頃、毎年沖縄旅行に行って海の綺麗さと海の生物の多さに感動していました。沖縄のある施設でウミガメがクラゲと間違えて人が捨てたビニール袋を食べてしまい、死んでしまうことが問題になっていると聞き、この海の綺麗さと海の生物たちを守りたいと思うようになりました。

- 環境省に興味を持ったきっかけ

大学3年生のとき環境省のサマーインターンに参加したのがきっかけです。そのときは環境アセスメントのワークショップを行い、事業者の立場、国民の立場、環境省の立場にたって事業が環境に与える影響について考えていました。この経験から、環境省以外でも環境について関わることができる仕事があると感じ、一度は自分の専攻がダイレクトに活かせるインフラ業界を志望することにしました。

- 環境省を志望した理由

希望通りインフラ業界に就職し、そこでは、事業者の立場として環境に関わる機会が多くありました。具体的には、環境アセスメントの手続きや工事における環境配慮などを業務として行っていました。すると自分の想像していた以上に、環境への取り組みは主体的に行われておらず、開発がメインで環境は二の次という仕事の流れを感じました。これは社会全体がまだまだ環境に対する意識が足りていないことが原因だと思い、最も環境保全の取組において、社会に影響を与えることのできる環境省を志望しようと決めました。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

後悔をしないように就活をしてください。仕事を決めることは非常に大きな決断です。研究や課題などで忙しい人もいますが、なるべく説明会などに足を運ぶことが重要だと思います。名前だけでは興味のわからない省庁であっても、話を聞いてみるとイメージが変わったりします。そして、説明会の内容だけで無く、そこで働いている人達の雰囲気や人柄なども見てみてください。

また、職歴や留年歴がある人もそれを理由で諦めないでください。その時に何を思い、今なぜ環境省を志望したいのか、その経験をどう活かすのかななどをきちんと説明できるようにしておくことが重要だと思います。

その上で環境省を選んでいただけるのであれば大変嬉しいです。説明会等で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

PN：野球は観る専門

基本データ
【大学所在地・学科/専攻】 東京都・工学系研究科 建築専攻
【学歴・性別・年齢】 修士新卒・男性・24 歳
【試験区分】 工学（院卒）
【国家公務員試験合格年度】 平成 28 年度
【試験席次】 上位 5%くらい
【英語加点の有無】 有（25 点）
【説明会参加回数】 9 回
【特に印象に残っている説明会等のイベント】 霞ヶ関オープンゼミ（2016 年 3 月 3 日）
【併願した省庁（第一クール訪問順）】 環境省→国土交通省（住宅局）→文部科学省（施設系）

【就活のスケジュール】

時期	内容
2015 年 8 月	国家総合職試験・TOEIC の勉強を開始。
2015 年 12 月	中央省庁の説明会に参加し始める。
2016 年 1 月	TOEIC 公開テスト受験。
2016 年 3 月	民間企業の就職活動を開始。
2016 年 5 月	民間企業から内々定をいただく。 国家総合職試験一次試験。
2016 年 6 月	国家総合職試験二次試験（専門記述）。
2016 年 7 月	国家総合職試験二次試験（人物試験）。
2016 年 8 月	官庁訪問。

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

【私はこんな人です】

- 大学では建築学を学んでいます。ゼミでは建築環境工学とあって、主に建物の省エネについての研究を行っています。環境問題には昔から関心があったのですが、建築という人々のライフスタイルにとって身近な分野で環境問題と向き合うことで、より現代の環境問題を強く意識するようになりました。
- プロ野球球団の中日ドラゴンズを応援しています。ここ数年は我慢のシーズンが続いていますが、必ずまた黄金期がくると信じています。野球は観る専門です。
- ひとり旅が好きです。最低限の荷物を持って日本の各地を旅することが好きです。自分と向き合うためには、知らない街をゆっくり歩くのがいちばんですよ。現地に行くと、その場の魅力に直接触れたことが、将来国家公務員になって素敵な日本を守りたいという想いにつながったのだと確信しています。

【志望動機】

大学のゼミの研究で学んだのですが、建築分野においても CO₂ 排出量の多さをはじめとする環境問題がなかなか改善されていないのが現状です。そしてもちろん、環境問題は建築分野に限りません。まずは、多くの人々が環境問題に関心を持つことが大切なのです。自分自身が強く抱くこの問題意識と、正面から向き合える場所が環境省だと考えました。地球温暖化問題が喫緊の課題となった今、日本は先頭に立って、世界中を巻き込みながら低炭素社会の実現を目指す使命があります。そのために、私は国民ひとりひとりに今直面している問題を伝えるための仕組みを考えていきたいと思いました。そして、日本を世界が憧れる環境先進国にするためのきっかけ作りをしたいと思い、環境省を志望しました。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

就職活動において、国家公務員というのはかなり特殊な分野のように思います。国家公務員試験の準備もおそらく一筋縄ではいかないでしょう。教養の勉強をして、専門の知識を深めて、面接の練習をして、本当にうまくいくのか私自身も不安の日々でした。試験対策をしている間に、まわりの友人は就職活動をどんどん進めて民間企業から内々定をいただいていた。でも、なにも焦ることはないと思います。自分自身が目指したい道がこれだと決めたのなら、まわりのペースなんて気にしない方がいいです。8月の官庁訪問で、ずっと目指していた環境省から内々定をいただいた時、素直に思ったことは、春先に就活を終えた友人との数ヶ月の開きは、この先のことを考えればごく僅かな差に過ぎないということです。環境省は、これから向き合わなければならない問題が増えていくと思います。決して多くはない人員で様々なチャレンジをしています。環境省の業務についてあまりイメージが湧かないと思ったのなら、ぜひ説明会にお越し下さい。たぶん、この国の将来のためにここで働きたいと思うに違いありません。

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

PN： ジャグラー

基本データ	
【大学所在地・学科/専攻】	大阪府・工学研究科 環境・エネルギー工学専攻
【学歴・性別・年齢】	修士新卒・男性・25 歳
【試験区分】	工学（院卒）
【国家公務員試験合格年度】	平成 28 年度
【試験席次】	上の下
【英語加点の有無】	有（25 点）
【説明会参加回数】	7,8 回（説明会、霞ヶ関 OPEN ゼミ、サマートライアルなど）
【特に印象に残っている説明会等のイベント】	霞ヶ関 OPEN ゼミの懇親会
【併願した省庁（第一クール訪問順）】	なし

【就活のスケジュール】

時期	内容
2013 年 8 月	サマートライアルに参加（模擬 COP19）。みんなが自国の主張をしつつも、落としどころを探す過程にわくわく。
2015 年夏～冬	民間インターンシップに参加。環境省の説明会にも参加。
2016 年 3 月	民間説明会解禁。環境系企業を中心に民間就活。
2016 年 4 月中旬	環境省 5 日間のインターンシップに参加。国の仕事を体験。一次試験、勉強開始。なんやかんや先延ばしにしまった。
5 月下旬	一次試験、受験。教養が全く出来ずに絶望。合格が期待できず、二次試験の勉強に手がかからない。
6 月上旬	民間企業で内々定をいただく。一次試験、合格発表。まさかの合格！2 週間後の二次試験に向けてここから猛勉強開始。
6 月中旬	二次試験、筆記試験受験。自己採点で 9 割越え、手ごたえあり。
7 月中旬	二次試験、政策課題討議&人事院面接。人事院面接で思った以上に深掘りされて驚く。
7 月下旬	二次試験、合格発表。無事合格するもここに来て民間企業と迷い一日ごとに心変わり。最終的には環境省に心を決める。
8 月上旬	官庁訪問。環境省しか訪問しなかったため、大阪⇄東京を夜行バスで往復する日々。第一クールを事故渋滞で遅刻したのはいい思い出。基本的に面接も待機時間も楽しく過ごせました。内々定後、民間企業の内々定辞退。
10 月	内定！

※サマートライアル：例年夏季に実施される、職員との交流を深めながら、環境省に関わる政策の企画・立案を体験するイベント。コースによりテーマが異なる。期間は 2 日。

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

【私はこんな人です】

- 研究

ゴミ処理施設の設置における合意形成の研究をしています。社会的には必要だが、誰もが自分の近くには作って欲しくない施設の一つにゴミ処理施設があげられます。そんなゴミ処理施設を設置する際に、誰が何をどのようにすればコミュニケーションが円滑に進むかということテーマに、アンケートなどを用いて研究しています。
- サークルなど

大学の環境サークルに所属していました。行政の環境職に関心を持ったのもサークル活動で行政の方にお世話になったことがきっかけでした。サークル活動をきっかけに、現在は環境 NPO の運営に携わっています。
- 趣味・特技など

サーカスが大好きで、自分でもジャグリングをします。2年に1度ペースで来日するシルクドソレイユの観劇は欠かせません。高校時代はフェンシング部だったので、今から東京オリンピックが楽しみです。

【志望動機】

- 環境に興味を持ったきっかけ：将来世代に誇れる環境を残したい

環境に関心を持ったきっかけは1回生の授業で「現在のペースで石油を利用し続けると、石油は残り約40年しか使えない」ということを学んだことです。40年後、僕たちは60歳くらいになっておそらく孫がいるでしょう。その孫に「おじいちゃんたちが全部使っちゃったから、僕たちが困ってる！」なんて言われたくないなあ……、と感じたことが、環境を仕事にしようと考えようようになったきっかけでした。
- 環境省の志望理由：環境の未来を考える「シナリオライター」

公務員の役割はその性質上「黒子」と言われることがよくありますが、個人的に環境省職員の役割は「シナリオライター」だと考えています。つまり、環境の未来（あるべき姿、シナリオ）を作成し、日本・世界を俯瞰的に捉え、企業や個人が協力してその未来を実現できるよう、法律や制度・予算などを整えるという役割です。スマートライアルや説明会・インターンシップを通じ、そんな役割を担う環境省に魅かれ、自分もそこで将来世代に誇れる環境を残す仕事がしたい、と感じたことが志望理由でした。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

環境省は数ある省庁の中でも比較的新しい省庁です。新たな課題に向き合っているためか、他省庁と比べ、上下の風通しが良く、一人ひとりが携わる仕事が大きく、成長しつつあることから、他省庁からはベンチャー省庁とも呼ばれているそうです。色んな環境問題に関心があり、俯瞰的な視点から社会的意義が大きな仕事をしたいというそのあなた、一緒に働きませんか？

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

PN : のびしろ

基本データ
【大学所在地・学科/専攻】 京都府・地球工学科 環境工学コース
【学歴・性別・年齢】 学部新卒・男性・22 歳
【試験区分】 工学（大卒）
【国家公務員試験合格年度】 平成 28 年度
【試験席次】 中の上ぐらい
【英語加点の有無】 あり
【説明会参加回数】 1 回
【特に印象に残っている説明会等のイベント】 学校主催の就職説明会の個別ブース
【併願した省庁（第一クール訪問順）】 環境省→国土交通省→経済産業省

【就活のスケジュール】

時期	内容
3 年春	総合職の試験を受けることを決める。 (受からなければ院進学)
3 年秋	勉強を始める。(主に 1 次の内容) 院試にも使える TOEIC の勉強も進めていた。
1 次試験後	2 次の勉強を始める。
2 次試験後	院試の勉強と、官庁訪問に向けて宿探しを始める。
官庁訪問中	官庁訪問と院試で東京と京都を行ったり来たり
4 年 8 月	内々定

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

【私はこんな人です】

- 大阪府出身で大学は実家から通っていました。
- 中・高ではサッカー部で、大学でもサークルでサッカーをしていました。趣味という趣味が無くてすごく困っています。
- アルバイトで塾講師として小学生に算数を教えていました。
- 大学では環境工学を専攻して、研究室ではセシウムの溶出などを研究していました。

【志望動機】

最初環境に興味を持ったきっかけは、暑いのが嫌いで、温暖化をなんとかしたいと思ったことです。大学で環境工学を学んでいくうちに、環境問題はひとつひとつ独立しているのではなく、様々な問題が複雑にからみあっていることを知りました。そうした複雑で幅の広い環境問題を改善、そして解決していくためには世界全体、あるいは国全体として取り組んでいくことが重要ではないかと考えるようになりました。そうした考えで、国として先頭になって環境問題に取り組んでいる環境省で、住みよい環境を作っていきたいと思いました。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

私は官庁訪問で3つの省庁を訪問しました。環境省以外は第1クールでだめだったので、その中で思ったことがあります。それは環境省の面接は他の省庁と少し違っていたということです。面接なのでもちろん志望動機など一般的なことは聞かれるのですが、それ以上に、普段の仕事の内容などを面接官の方が話してくださり、それに対して自分の考えを述べたりすることが多かったのです。私は学部卒なので知らない分野も多かったのですが、自分の考えはしっかり言っていました。今思うと、このように自分の意見を言えたことが良かったのかなと思います。

また、面接では様々な分野で活躍されている方のお話を聞くことができ、自分の全く知らない分野の話も数多くあると思います。そうしたお話を自分の知識に入れることも大事なのかなと思います。知識を増やしていくことで新たな発見も増え、やりたいことも増えていき、志望動機も変わっていくかもしれません。私自身もそうで、最初漠然としていた志望動機や取り組みたいことが具体的になっていきました。

まとめると、自分の意見をしっかりと言うこと、そして、1つの面接で得た知識を吸収し官庁訪問中に成長していくこと。この2つのことが重要だと感じました。

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

PN：二日酔い

基本データ
【大学所在地・学科/専攻】滋賀県・理工学研究科 環境都市専攻
【学歴・性別・年齢】修士新卒・男性・24 歳
【試験区分】工学（大卒）
【国家公務員試験合格年度】平成 26 年度
【試験席次】中の下くらい
【英語加点の有無】無
【説明会参加回数】3 回
【特に印象に残っている説明会等のイベント】 霞が関オープンゼミ
【併願した省庁（第一クール訪問順）】 環境省→経済産業省→特許庁

【就活のスケジュール】

時期	内容
2013 年 5 月	就職先について漠然と考え始める。企業調べで、国家公務員に興味を持ち始める。総合職試験勉強に少しずつ手を付ける。
2014 年 4 月	国家公務員総合職試験一次試験。
2014 年 5 月	国家公務員総合職試験二次試験。
	大学院生として研究に没頭。
2016 年 3 月	官庁訪問の準備。
2016 年 6 月	春の官庁訪問
2016 年 8 月	夏の官庁訪問（内々定！！！！）

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

【私はこんな人です】

- ◇ 富山県出身で大学入学の際に滋賀県に引っ越しました。(一人暮らし)
- ◇ 中学生時代はバスケットボール部に所属し、高校生時代は陸上競技部、大学生時代では書道部に所属していました。
- ◇ 釣りやゴルフ、書道、バスケットボールを趣味としています。大学に入学するまでは、海釣りを主に行っていましたが、大学生になってからは琵琶湖まで車で 10 分程度のところに住んでいたため、基本、ブラックバスを対象に釣りをしていました。琵琶湖で釣りをするようになってから、外来種のことを改めて考える機会が増えたように感じます。期間限定ではありますが、ベランダで家庭菜園もしています(笑)
- ◇ 大学・大学院での研究内容は、廃棄物問題や資源枯渇問題に関するものでした。(環境省に興味をもった理由の一つです。)
- ◇ 修士 1 回生の時に 3 か月間、アメリカのボストンへ研究留学をしてきました。留学先では、「家庭起源廃棄物からの金属回収可能量及び回収に必要なエネルギー量」の推計を行いました。

【志望動機】

- ◇ 地球温暖化問題をはじめとする国際的な環境問題、災害廃棄物問題等の多岐にわたる仕事に関わりたいと思い、環境問題の解決に関与できる就職先を考えていました。
- ◇ コンサルタントと環境省で相当悩みました。民間企業では、制度作りの基盤となるデータ収集を主に行うという非常に重要な役割を担うことができるため、コンサルタントにも関心がありました。しかし、私は、制度・ルールづくりに関与し、制度ができた後の改正にも関与していきたいと思っていたことや、国際的な職務にも従事することで国際的な環境問題の解決にも関与していきたいという気持ちがより強くあったため、環境省を志望しました。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

環境問題を解決したいと強く思っている人が集まっている団体の一つが環境省だと思います。私のやりたいことは環境省にしかないと分かり、環境省を志望しました。実際に、官庁訪問中に職員の方々のお話を聞くたびに環境省への思いが強くなっていきました。ただ改めて思うことは、環境問題に携わるという観点に立つと、環境省という就職先は数ある企業の中の選択肢の一つでしかないということです。制度づくり等の立場以外から環境問題の解決に尽力したいのであれば、環境コンサルタント等からのアプローチもあると思います。私自身、民間か公務員のどちらに就職しようかとたくさん考えました。考える材料としては、説明会への参加やOB・OG訪問です。特に、説明会にはできる限り参加しました。実際に、職員の方々からお話を聞くことで、自分がどこで何をやりたいかを明確にすることができました。就活は、どうしても大変に感じてしまっていますが、将来、自分自身のやりたいことをするための通過点だと思います。たくさん悩んで、やりたいことのある就職先を見つけ出していただけると良いと思います。(私のお勧めは、絶対に環境省です！)

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

PN：しろくま

基本データ
【大学所在地・学科/専攻】東京都・新領域創成科学研究科 環境システム学専攻
【学歴・性別・年齢】修士新卒・男性・24 歳
【試験区分】工学（大卒）
【国家公務員試験合格年度】平成 27 年度
【試験席次】真ん中くらい
【英語加点の有無】有
【説明会参加回数】4 回
【特に印象に残っている説明会等のイベント】 政策シミュレーション
【併願した省庁（第一クール訪問順）】 環境省→経済産業省

【就活のスケジュール】

時期	内容
2014 年 4 月	（学部 4 年）経産省（理系出身）の方の話を聞き、理系でも公務員の道があることを知る。急いで出願し、1 次試験は合格するものの、2 次試験で見事玉砕。
2015 年 7 月	（修士 1 年）再度試験を受け、今度は無事最終合格を果たす。しかし修士は卒業しなかったため、官庁訪問は次年度に延期する。
2015 年 秋～冬	留学中に就活のスケジュールが突然変更され（8 月解禁→6 月解禁）焦る。同じ頃、次年度は春にも官庁訪問があることを知って驚く。
2016 年 3～5 月	（修士 2 年）民間の就活と研究（学会の準備）で大わらわ。実は博士課程も考えていたため悩んだが、最終的には就職、そして環境省を第一志望にすることを決意した（5 月半ば）。
2016 年 6 月	春の官庁訪問で環境省から内々定をいただき、就活を終える。

くろ	セブ島	野球は観る専門	ジャグラー	のびしろ	二日酔い	しろくま
----	-----	---------	-------	------	------	------

【私はこんな人です】

- 京都出身、大学から東京にきました。標準語も完璧には話せず、かといって関西弁も薄れつつあるので、最近は自分のアイデンティティを失いつつあります。(笑)
- 大学では4年間、体育会合気道部に所属していました。
- 海外に行くことが好きです。修士1年の時にイギリスに3か月間留学していました。旅行も好きですが、外国で暮らすと日本との違いが色々とわかって面白いです。最近では夏休みにインドに1人で旅行に行ったのですが、水に当たって現地で3日間入院しました。死ぬかと思った・・・

【志望動機】

- 環境問題への関心 地球温暖化問題がきっかけです。小学校の頃、ニュースで海面上昇によって国土が沈みつつある島国の存在を知り、衝撃を受けました。生まれ育った京都の名を冠する京都議定書の存在にも影響を受けました。
- 環境省を選んだ理由としては、1つ目は温暖化問題（特に国際交渉）に関わりたかったからで、2つ目は途上国の環境保全の支援を行いたかったからです。日本が今後世界に貢献できる分野の一つに、環境分野があると思っています。公害を克服した経験や優れた環境技術を途上国でも役立てられるはず。そう考えて官庁訪問中に職員の方のお話を聞くと、同じような思いを持つ職員の方に複数お会いでき、大変勇気づけられました。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

今でこそ、環境省の「志望動機」なるものを人並み程度(?)には語れますが、ここに至るまでには相当苦勞しました。私の場合、「海外が好きなので、海外と関わりたいなあ」「温暖化など、環境分野に興味があるかなあ」というぼんやりした思いはあっても、そこから具体的な志望動機（他人に説明できるもの）に落とし込むなんて、もうお手上げ状態でした。結局自分ひとりではできず、研究室の先輩に手伝ってもらったり、官庁訪問中に職員の方のお話を聞いたりする中で志望動機ができていったと思います。

官庁訪問中は他省庁や民間も同時に面接を受けていたので、環境省という選択でよいのか、不安になる時もありました。そこで決め手となったのは、様々な職員の方と会う中で「もともと興味があった温暖化や途上国関連の仕事はもちろん、それ以外の業務も面白そうだし、ここなら頑張っていけそう」と感じる事ができたからです。

もし私のように志望動機や就職先の決め手で悩んでいる人がいれば、OB訪問や官庁訪問を上手に利用してみてください。官庁訪問では職員の方のお話を聞く機会が数多くあります。採用面接も兼ねているため緊張するのは仕方ないと思いますが、「環境省についてもっと知りたい」という気持ちで職員の方のお話を聞くとよいのではないのでしょうか。そうすれば自然と、自分は環境省で働きたいのか・働くべきなのか、という問いにも答えが見つかると思います。

第二部 内定者の国家公務員採用総合職試験 体験記

この第二部では、内定者 7 名による国家公務員総合職試験、いわゆる筆記試験の勉強・対策方法をお伝えします。「選択試験ではどの分野を選ぼう?」「この勉強方法ってどうやるの?」「政策課題って何やるの?」と気になる理工系の方、試験対策の参考にしていただければ幸いです。

過去 3 年分 総合職理工系内定者の筆記試験の内訳

試験区分

■ 工学 ■ 化学・生物・薬学 ■ 数理科学・物理・地球科学



試験の種類

■ 大卒 ■ 院卒



勉強方法

■ 独学 ■ 予備校 ■ 学内講座



※ 本紙に記載している試験方法や内容は、H28 年度国家公務員採用試験について述べたものであり、H29 年度以降の試験とは試験時期などの点で異なる可能性があります。(H29 年度は H28 年度に比べて試験の時期が早まっています。) また、勉強方法や選択問題のオススメ等については、あくまでも内定者個人の見解に過ぎず、もし事実と異なった場合でも責任はとりかねますことをご了承ください。あくまでも、本紙は受験者様の参考程度としてご覧いただければ幸いです。

(参考)

H27 年度の試験から TOEIC、TOEFL、IELTS、英検のスコアに応じた得点が**試験の総得点に加算されるようになりました。**例えば TOEIC なら 600 点以上で 15 点の追加、730 点以上で 25 点の追加というシステムです。

詳細は人事院のホームページをご確認ください。

－ 国家公務員総合職試験の概要 －

【一次試験（教養+専門）】

教養は大卒 40 題、院卒は 30 題です。マーク式で大学入試センター試験を想像してもらったら分かりやすいと思います。内容は現代文や英文から算数のような頭の柔らかさを使う問題、社会（日本史や地理、政治、経済）のような知識を問う問題など幅広く出題されます。

専門もマーク式です。教養と違って、数多くある問題から数十問を選択して解きます。どの問題を選択するのが大事になってくるのではと思います。この一次の結果で二次を受けられるかが決まります。

【二次試験（専門）】

一次の専門と内容は似ていますが、こちらは完全記述式です。一番配点の多い試験です。

【政策論文】 ※大卒程度区分のみ

二次の専門試験と同じ日に行われる試験です。出題されたテーマに対し、与えられた 3 つの資料を使いながら、A4 裏表 1 枚に政策としてまとめていきます。

【政策課題討議】 ※院卒程度区分のみ

二次の専門試験とは別の日に行われる試験です。ある課題に対し自分の意見をまとめ、発表し、グループで討議した後、もう一度自分の意見をまとめて発表します。

【人事院面接】

二次の試験からしばらくたった後に行われます。年度によって変更するかもしれませんが、私たちの代は面接官 3 人で、20 分程度の試験でした。

PN：くろ（数理科学・物理・地球科学区分/院卒）

1. 勉強量について

勉強開始時期：修士 1 年秋頃

勉強方法：教養は大学の公務員講座、専門は独学

【一次と二次をどうやって両立したか】

一次の前は、先に一次（主に教養）の勉強をして、飽きたら二次（専門）の勉強をするようにしていました。専門の勉強は、特に一次、二次の区別をせずに行っていました。

【専門と教養、政策課題討議のバランスは】

専門：教養：政策課題討議＝6：3：1 くらい。

教養は大学の講座を受けていたので、独学の専門の方に重点を置いていました。

【英語試験の勉強について】

特別英語だけの勉強はほぼしていません。なので、英語試験の加点はなかったです。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

教養は大学の講座を受けていたので、そのテキストを使っていました。文系科目はほぼ手つかずでしたが、数的処理と文章理解は毎日 1 問ずつでも解いていました。時間配分が難しいので、特に数的処理はスピードを意識して解くようにしていました。

【専門試験（数理科学・物理・地球科学）】

- 専門一次
基本的には院試の復習をしました。数学や物理については、過去問がのっている参考書を購入して勉強しました。
- 専門二次（地質学を選択）
こちらも基本的には院試の復習でした。あとは過去問 3 年分を複数回解きました。分からないところはその分野の研究室の友達に教えてもらったりしました。

【政策課題討議】

政策課題については、同じく院卒の試験を受けていた友達と、ある議題について時間を決めて意見をまとめ、お互い発表しあうといった練習をしていました。また、大学の講座で集団討論の練習があったので、2 回ほど参加しました。前知識は必要ではなく、そのとき持っている知識、考え方を使ってどのように議論に貢献するかを考えるものでした。

【人事院面接】

大学のキャリアサポートセンターを利用して練習していました。また、民間就活でも面接を経験していたので、たとえ緊張はしても、自分の考えを誠実に伝えることだけはしようと意識していました。何を聞かれたとしても、それまで自分が経験してきたこと、考えてきたことからしか物事は語れないと思うので、自分の経験をじっくり振り返り、それを言葉にできるようにしておくとうれしいと思います。

PN：セブ島（工学区分/大卒）

1. 勉強量について

【一次と二次をどうやって両立したか】

一次試験の前は一次試験の勉強だけ行いました。一次試験の方が範囲も広いので時間がかかりました。一次試験が終わったあとから二次試験の勉強を行いました。

また、過去問の請求には時間がかかるので、早めに請求したほうが良いと思います。

【専門と教養、政策論文のバランスは】

教養 3 割、専門 7 割くらいで勉強していたと思います。政策論文はほとんどしていません。

【英語試験の勉強について】

とくになし。TOEIC IP テストは加点にならないので気を付けてください。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

教養は文章問題と数的処理みたいな問題は落とさないようにしていました。この 2 つを落とさなければ、ほぼ合格点まではいくと思います。

【専門試験（工学）】

● 専門一次

専門は一次試験でなるべく点数を稼いでおこうと思って勉強していました。

工学の基礎に関しては参考書を買ってひたすら問題を解いていました。センター試験を経験した人は、新しいことを覚えるというよりは思い出すという感じだと思います。工学の基礎で 8 割くらいとれると、一次試験は楽になると思います。

選択問題は自分の専門以外でも、時間をかけずにとりやすい問題を解くようにしていました。「解く力」だけでなく「問題を選ぶ力」を養うのも重要な気がします。

● 専門二次（構造力学、土木計画(河川工学))

計算などを行い時間がかかるハード系の科目として構造力学を、計算などを行わず、素早く解くことのできるソフト系の科目として土木計画を選びました。試験が始まってすぐにソフト系の科目を短時間で解き、残りの時間を使ってじっくりハード系の科目を解くようにしていました。

構造力学は一通りの問題は解けるような状態になってから過去問を解くようにしていました。答えが無いのでわからなかったら参考書やネットなどで問題を調べて、ひたすら格闘していました。

土木計画はいきなり過去問を解き、問題の傾向をつかむようにしていました。しかし本番では例年と傾向が変わったので焦りました……もし時間に余裕のある人はソフト系の科目は 2 つ用意して、本番で解きやすい方を選択するのもありかもしれません。

【政策論文】

政策論文はとりあえず過去にどんな課題が出たかをチェックしました。また、自分の中で文章を組み立てる時間と実際に書く時間がある程度決めて本番に挑みました。

【人事院面接】

面接は民間などで経験したことがあったので特に対策はしませんでした。ただ面接カードに沿って面接は行われるので、面接カードはじっくりと書きました。人事院面接の段階から希望省庁のことも聞かれたので、この時には希望省庁をある程度決めておいた方が良いと思います。

PN：野球は観る専門（工学区分/院卒）

1. 勉強量について

【一次と二次をどうやって両立したか】

結論から言うと、両立はできませんでした。大学生になってから教養の知識が抜けてしまっていたので、その修復作業にかなりの時間を費やしました。受験を決意した前年の8月から一次試験のある5月までひたすら一次試験の勉強のみでした。二次試験対策は、一次試験の合格を信じ、合格発表の前から開始しました。

【専門と教養、政策課題討議のバランスは】

専門と教養はほぼ同時並行で勉強しました。一次試験の前は一次の対策、二次試験の前は二次の対策、人物試験の前はその対策というように順を追って対策していました。

【英語試験の勉強について】

少しでも合格の確率を上げようと思い、TOEIC 公開テストの受験を決意しました。前年8月に勉強を始めて、準備でき次第、受験することにしました。一次試験の勉強と並行していた為、受験に踏み切れたのは1月になってしまいました。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

教養試験は、とにかく過去問を解いてパターンに慣れることが重要です。おそらく難易度はそれほど高くはないと思うのですが、本番はその場の緊張感と自身の焦りで、いつものパフォーマンスは出来ないかもしれないと、ある程度想定して挑むと良いかもしれません。時間内に全てを解こうとせずに確実に得点できるところを狙い撃ちしましょう。あと、時事問題は日頃から新聞などを読んでいると解けたりします。

【専門試験（工学）】

- 専門一次

数学と物理はとにかく高校のときに使っていた参考書を何度も解きました。試験は凄く難しいと決め付ける前に、過去問を一度解いてみるのも良いと思います。専門は建築を選びました。構造は苦手でしたので、その他の建築分野と、足りない部分を補うために、技術論と環境衛生の勉強も少ししました。無理は禁物ですが、武器は多い方が良いです。建築については、二級建築士のテキストで勉強しました。
- 専門二次（建築）

一級建築士の製図テキストで対策しました。一次試験が終わってから対策を始めたので、時間に余裕があったとは言えません。できるだけ毎日図面をひくようにしました。その他に、過去問は4年分ほど実際に時間を計って解いてみました。過去問には解答がなかった為、研究室の人にみてもらいました。

【政策課題討議】

これといった対策はしていないというのが本音です。1冊だけ、民間企業のグループディスカッション対策の本を読みました。研究室のゼミなどで、日常的にディスカッションをする習慣があるのなら心配ないと思います。おそらく最も大事なものは、発想力より人と対話する姿勢です。

【人事院面接】

なぜ国家公務員を目指したのか？そこを自分なりに言葉にしておくが良いと思います。どんなに日頃から国家公務員になることを夢見ていたとしても、言葉にまとめるのは意外に難しかったりします。ひとつの省庁に的を絞っているのなら、そこを強調するのも良いことだと思います。相手の目を見て話しましょう。

PN：ジャグラー（工学区分/院卒）

1. 勉強量について

勉強開始時期：2016年4月／勉強方法：独学

【一次と二次をどうやって両立したか】

一部の【就活のスケジュール】にも書いた通り、両立はできていません。僕のケースは悪い見本ですが、理想的には試験3ヶ月前から一次の勉強を始め、一次前に二次専門の勉強計画を立てる、参考書を揃えるなどする余裕を持てるといいと思います。

【専門と教養、論文/課題討議のバランスは】

勉強量 専門：教養：課題討議=3:1:0

専門は一次・二次両方で受験するため、一次前から専門を優先的に勉強しました。勉強の開始時期が遅かったこともあり、教養はあまり勉強できませんでした……。

【英語試験の勉強について】

学部3回生から環境省を考え始めていたこともあり、3回生春休みの語学留学（1カ月@フィリピン）から帰国後すぐにTOEIC受験し、25点加点を目指しました。

2. 勉強・試験内容

- 基本的に過去問しか解いていません。解答は公表されていないため、過去問の解答を作っていくイメージで勉強しました。教員志望の後輩に教えてもらっていたのですが、この後輩がいなければ試験に落ちていたかもしれません。
- 勉強した内容を徹底的に記録しました。難易度や解いた回数・過去問の類題・理解したかどうかなどをExcelで表にまとめました。これにより勉強の達成度や積み重ねが可視化され、モチベーションUPに繋がりました。

【教養試験】

時事や世界史などは対策せず、判断・数的推理と資料読解のみ過去問を解きました。とはいえ、専門を優先したため教養はほとんど勉強していません。

【専門試験（工学）】

- 専門一次（技術論、基礎科学、電磁気学、環境工学（土木）・衛生工学、機械力学、熱力学・熱機関[機械系]）
 - ①満点を目指す科目、②3~4問正解を目指す科目、③1~2問正解を目指す科目に分けて勉強しました。僕の場合①環境工学と熱力学、②基礎科学と電磁気学、③技術論と機械力学でした。試験勉強は①②しかせずに、結果的には20問中18問を①②で回答しました。知識問題は完璧に対策できないことを前提に勉強し、熱力学など計算で解ける科目に重点を置きました。
- 専門二次（熱力学・熱機関[機械系]、環境工学（土木）・衛生工学）
 - 熱力学は出題傾向が一定で楽に勉強できました。環境工学はA・B両方をインターネットで行政資料を見つける方法で勉強しました。Aは環境分野広く浅めに、Bは下水道工学について狭く深く出題されるイメージです。

【政策課題討議】

過去の出題テーマや討議形式を調べただけで、特に対策はしませんでした。民間就活もしていたのでグループワークの練習もしませんでした。

【人事院面接】

ESを何度か書き直し、そこから想定される質問への回答を準備した程度でした。同じく民間就活が役に立ちました。

PN：のびしろ（工学区分/大卒）

1. 勉強量について

勉強開始時期：3 回生の秋

勉強方法：独学（学校で過去問をもらい、市販の参考書を少し買いました。）

【一次と二次をどうやって両立したか】

一次が終わるまではずっと一次の勉強をしていました。一次の中では 8 割ぐらいを専門に費やしていました。一次終了後二次の勉強にとりかかりました。

【専門と教養、政策論文のバランスは】

一次まで 専門：教養＝8：2 ぐらい

二次まで 専門：政策論文＝9：1 ぐらいです。

【英語試験の勉強について】

院試でも使える TOEIC の勉強を 3 回生の秋～4 回生の春（3 月）までしました。試験は 3 回受けました。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

数的処理系は得意だったのでほぼしていません。代わりに現文、英文が苦手だったので市販の参考書を買って 2 周ぐらいしていました。社会などの知識分野は一切していません。

【専門試験（工学）】

- 専門一次

市販の参考書を一通りやった後、過去問を 7 年分解きました。選んだ科目は基礎科学、構造力学、土質力学・水理学、環境工学、熱力学、土木計画です。6 科目 30 問から 20 問解答なので、解けそうな問題を選択して解きました。専門分野に近いのは土木ですが、構造力学は当日問題を見て建築の方を解きました。

- 専門二次

準備していた科目：環境工学（上下水）、水理学
 当日解いた科目：環境工学（上下水）、構造力学（土木）
 勉強方法は過去問を解くぐらいでした。答えはありませんが、上下水は学校の授業と一緒にだったので困りませんでした。もう一つは水理学と構造力学で迷ったのですが、ネット上に水理学の解答が転がっていたので、水理学を選択しました。

ところが試験当日、水理学が異常に難しく全く解けそうになかったので、構造力学に変更しました。7 割ぐらいは解けていたのですが、もう少し勉強していればほぼ全部解けたと思うので、時間に余裕がある人は 3 科目用意した方がいいのかなと思います。

【政策論文】

2 年分の過去問で、時間内に書ききる練習だけしました。（内容面は一切対策していません。）

【人事院面接】

市販の面接対策の本と、面接カードの書き方の本を一通り読みました。後は先に受けた友達にどんな感じか聞きました。ほぼ面接カード通りだったように思います。

PN：二日酔い（工学区分/大卒）

1. 勉強量について

私は、大学が開講している公務員講座（総合職工学区分）を受けていました。試験に向けての学習方法としては、基本的に、公務員講座の講義を受け、レジュメやテキストを読み、問題集を解くという典型的なものでした。

【一次と二次をどうやって両立したか】

まずは、一次試験に集中し、二次試験の勉強は一次試験の後から始めました。ただ、二次試験で解こうと思っていた問題が一次試験の出題内容と共通していた部分があったため、その部分に関しては、一次試験の準備をしながら、二次試験の勉強も行っていました。

【専門と教養、政策論文のバランスは】

採点で比重が大きい専門分野の学習に重点を置いていました。教養科目は、出題数が多いもの（数的処理など）と少ないもの（世界史など）との差が顕著ですので、出題数の多い科目に力を入れて学習を行っていました。

【英語試験の勉強について】

私の受験した年は、英語による加点制度がなかったため、行っていません。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

教養試験では、出題数の多い文章理解、数的処理等を積極的に行い、一方で出題数の少ない日本史や世界史等はあまり行っておりません。

【専門試験（工学）】

- 専門一次

講座の先生が教えてくれたポイント（覚えること）は確実に覚えるようにしました。また、問題集（レジュメなど）は、記載されているすべての問題を解けるようになるまで解きました。とても時間はかかりますが、やれば確実に点数を獲得できる科目ですのでやり切りました。

- 専門二次
 - ・準備した科目：信頼性工学、都市計画、土質力学
 - ・本番で選択した科目：信頼性工学、環境工学

勉強方法は、講義を受け、自分で問題を解く&覚えるところは覚えることでした。

【政策論文】

政策論文では、何度も添削してもらいました。論文を書いている思ったのですが、上手く書けるようになるには、公共政策に関する知識が必要だと思います。私は、足りない知識を補うために先生に薦められた本を読みました。この中の言葉をいくつか使って文章を書きました。

【人事院面接】

面接カードの添削を大学で何度も行ってもらいました。また、模擬面接を大学で3回程度行いました。本番での面接内容は、基本的に、面接カード通りですので、面接カードに書いたことを自分でどんどん深堀して質問に対する答えを考えていました。

PN：しろくま（工学区分/大卒）

1. 勉強量について

1次試験、2次試験ともに勉強を開始したのは試験の直前（2週間前）でした。大学院の授業や部活が忙しく、予定より勉強の開始が遅れたことにかかなり焦りました。ただ、前年度に試験を受けていたため試験の形式は理解しており、そのアドバンテージはあったと思います。その意味で、まずは過去問を入手し、問題形式を知ることが第一歩だと思います。

【一次と二次をどうやって両立したか】

2次試験の勉強は1次試験後に開始したため、両立はしていません。

【専門と教養、政策論文のバランスは】

1次試験では専門よりも教養を重視し、2次試験では専門の勉強に注力しました。政策論文については特に対策をしていません。（私は専門があまり得意ではなかったため、1次は教養で得点を稼ごうと思っていました。ただ、配点や2次試験の専門を考慮すると、（1次であっても）きちんと専門試験の対策をする方が王道な気はします）

【英語試験の勉強について】

留学の際に受けた TOEFL(iBT)のスコアがあったため、それを利用しました。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

過去問を数年分解きました。文章読解（日本語、英語）、数的処理の問題傾向に慣れることを重視しました。それ以外（化学、生物、日本史、世界史など）は本番で解ける問題があればラッキー、くらいに思い、対策はしていません（対策できなかった、という方が正確です）。また、時間配分がとても大切なので、過去問を解く際は意識するとよいと思います。

【専門試験（工学）】

- 専門一次
過去問に目を通し、抜けていた知識を思い出す・埋める、ということをしました。
- 専門二次
過去問を見て傾向を把握し、大学院入試用の問題集で似た問題を探して勉強しました。（2次試験の過去問には解答がないため）

【政策論文】

特に対策はしていません。

【人事院面接】

面接カードに書いた内容について質問されると聞いていたので、いくつか想定問答を考えていきました。今思い返すと非常にオーソドックスな面接だったと思いますが、受けた当時（修士1年）は面接というものを経験したことがなく、めちゃくちゃ緊張しました。

第三部 内定者の官庁訪問 体験記

このコーナーでは、経験しなければなかなか実体が掴めない官庁訪問の様子をお伝えします。後半に内定者の座談会も載せていますので、訪問前のイメージトレーニングに是非お役立てください。

なお、掲載している情報はあくまで H28 年度官庁訪問における経験に基づき、内定者の視点から語られたものであり、来年度以降の官庁訪問のシステムや内容は以下と異なる可能性があります。（例：グループディスカッションは無かった年もあります。）

－ 環境省の官庁訪問（総合職試験）の簡単な流れ －

官庁訪問 約 5 日前

国家公務員総合職採用試験 合格発表（※H29 年度は日程の大幅な前倒しの予定が発表されているため、大きく異なる可能性があります。）

↓

官庁訪問前

環境省の HP から環境省官庁訪問申込票をダウンロードし、記入しました。

↓

官庁訪問初日 8:30 (9:00)

官庁訪問申込票を持参して環境省へ。受付終了後は控え室で待機しました。

↓

官庁訪問期間中

面接は複数回行われました。（人によって異なりますが、それほど遅くない時間に解放されました！）

－ 環境省の官庁訪問（総合職試験）の面接 －

面接は人によって異なりますが複数回行われました。面接では官庁訪問申込票をもとに質問されたり、自己 PR を求められたりしました。また説明会では聞けないような具体的な業務内容を聞いたり、政策について議論したりすることによって、しっかりと環境省の業務内容を理解することができました。時間は 1 回 30 分から 1 時間程度でした。面接時間よりも待ち時間の方が長いと思いますので、その間は控え室で他の訪問者や職員の方と話したりノートを見返したりしながら、リラックスして面接に備えましょう。

H28 年度は集団討論（グループディスカッション）もありました。

－ 環境省の官庁訪問（総合職試験）の服装 －

訪問者は、男女ともにほとんどの人がスーツを着用していました。しかし H28 年度の官庁訪問はクールビズ期間中で軽装が推奨されており、ジャケットを羽織っている人はほとんどいませんでした。体調管理に気をつけて、無理のない格好で訪問されることをお勧めします。

一 環境省の官庁訪問（総合職試験）の体験記（座談会） 一

-----総合職試験に見事合格！それで、官庁訪問って実際どんな感じ？-----

座談会形式のためフランクな文体ですがご容赦ください。

司会は、PN 野球は観る専門（以下、観る専門に省略）です。少し長いですが、最後まで読んでいただければ幸いです。

【官庁訪問前に準備した事は何ですか？】

- 観る専門 : じゃあ、官庁訪問前に準備したことから話そうか？説明会は行ったとして、合格発表以降に何した？
- のびしろ : 宿の準備は苦勞した。発表前に宿をとってたから、試験に落ちてたらどうしようかと。
- ジャグラー : 僕は夜行バスの手配をしたな。宿はカプセルホテルだったので苦勞はせえへんかった。
- 観る専門 : 地方の人はそういう面でも不安が多そう。
- しろくま : 千葉在住だけど、カプセルホテル取ったわ。朝から夜遅くまで面接あるって聞いてたから。
- 観る専門 : やっぱ毎日訪問だから近さは大事だね。そういう意味では、実家から毎日 1 時間半くらいかかった僕は遠い方か。
- くろ : 私もまずは宿の手配した！集合時間が 9:00 とかだったらアクセス重視で。午後集合のときは結構行くのに時間かかるけど妹の家から通った！
- 二日酔い : ぼくも宿探しは相当苦勞した。夏の官庁訪問でカプセルホテル泊まったけど、泊まってる最中にぎっくり腰になった。
- ジャグラー : うそやん(笑)
- 二日酔い : ほんとにつらかった。それ以降、カプセルホテルには泊まらないことにした。
- セブ島 : 実家から 30 分だったから黙っとくね、、
- ジャグラー : うらやましい……
- 観る専門 : 実家通いはとにかく面接カードを練った。あと環境白書に目を通した。
- のびしろ : 面接カード 5 回ぐらい書き直した。ワードで打てばよかった。
- セブ島 : 面接カードは絶対にワードの方が楽じゃない！？(笑)
- 一同 : ワード推奨！
- ジャグラー : 環境省の人は手書きか PC 入力かって気にせん気がする。
- セブ島 : 最後まで面接カードは見られるよね。
- しろくま : 研究室の先輩に添削してもらったら、元の痕跡がなくなるほど直してくれた(笑) めっちゃ感謝してます。
- くろ : 私は同期にも見てもらってた！
- 観る専門 : ということは、事前準備は宿の手配と面接カードと白書を見てのネタ探しくらい？

- ジャグラー：せやな！面接練習とかはせんやろし。
- 二日酔い：環境白書の前に重点施策みた！
- のびしろ：白書読んだの思い出した。行きの新幹線でずっと読んでた。
- くろ：白書で気になるところリストアップしてた。全部はとても見きれなかったけど。
- 観る専門：全部は読めないね、説明会で職員さんに相談したら子供向け白書勧められた。読んでみたらわりとためになった！
- くろ：面接カードみながら、自分の言いたいことちゃんと言えるようにシュミレーションしてた！
- 観る専門：まわりに同じ状況の人いなかったからひたすら本番のイメトレだったな。
- 二日酔い：志望動機は何度も覚えたわ。
- セブ島：志望動機は覚えるものじゃないよね(笑)
- 観る専門：面接カードに書いたことと矛盾しないようには気をつけたよね。
- くろ：セルフ面接練習は、言いたいことをあんまり詰まらずに言うために大事だなーって思った。
- しろくま：うん、話してみると意外と詰まるよね。

【官庁訪問全体の印象はいかがでしたか？】

- 観る専門：じゃあ、官庁訪問全体の印象は？他省庁でもいいよ！
- のびしろ：早く帰らされた省庁があって結構へこんだ！！
- 観る専門：午前か午後のどちらかで終わるように設定されている省庁もあるみたい。
- セブ島：いろんな省庁に行けて楽しかった感もあるなー
- くろ：最初原課面接はすごく面白かった！
- ジャグラー：それ！1・2クールめっちゃ楽しかった！
- 観る専門：なんとなく長く残される方が嬉しいというか安心感あるよね。
- 二日酔い：環境省は帰る時間は評価にあんまり関係なさそうだけどね
- しろくま：面接に呼ばれるのを待つ間は地味にしんどかったよね？
- ジャグラー：めっちゃしんどかった、、てかずっと緊張してたかも(笑)
- 観る専門：官庁訪問はまわりのみんなと仲良くなった方が絶対いい！
- くろ：隣になった人とかと話すと結構気楽になれたかな。
- ジャグラー：待合室のメンバーで仲良くなっていく感じがよかった。
- セブ島：それね！他省庁の情報とかも聞けるよね！
- 観る専門：環境省はそういった意味で本当に良かった。
- しろくま：クールビズもよかった！
- のびしろ：ジャケットいらなかった。
- 観る専門：環境省は面接場所によっては暑かった。
- セブ島：でもお茶あるのは嬉しかったよね。
- 二日酔い：自由に飲めるのは良かった！うちわもあったし！
- 観る専門：お茶は良かったね。コンビニいける時間が限られてたから午前中の食べ物とか

は事前にお買っという方がよいね。

セブ島 : あの待合室の雰囲気とかで省庁のカラーが見えるよね。

しろくま : 確かに。

ジャグラー : 他省庁の待合室と比べてどうやった？ぼくは環境省しか行ってないねんけど？

くろ : 環境省では、最初は結構自由に質問できたけど、第 3、4 クールはかなりしんどかった……

セブ島 : 環境省の先輩たちは、お昼休みに遊びにきて緊張解してくれたよね！

ジャグラー : あーそれな！気遣いが見えた。

観る専門 : 職員さんが来てくれたのは良かった！経験談とかその場で聞けた！

二日酔い : 名前は覚えられないけど、色々話せてよかった！

【環境省の面接で苦勞した点や印象に残ったやりとりは何ですか？】

しろくま : 面接ではどんな話が印象に残ってる？志望動機とか聞かれた？

セブ島 : やっぱり志望動機は最初から最後まで聞かれるよね。

二日酔い : 志望動機はほぼ毎回聞かれてたと思う。あと、おれは留学経験の話とかもした！

観る専門 : 春あたりの民間就職活動の経験は活かしたよね。

くろ : 民間就活の経験は、毎回話してた！

しろくま : 僕は職員の人に質問を結構したからあまり志望動機は聞かれなかったんやけど、一度深掘りされて泣きそうになった。君の本音が見えない！！って。

一同 : つら、、、

ジャグラー : それになんて返したん？

しろくま : 本音で話してるつもりだったからもう一度丁寧に説明した。伝わったかは微妙だけど。でも、最後に励ましの言葉ももらったし、志望動機をもう一度考え直すきっかけにもなったわ。感謝してる！

観る専門 : 困ったときも黙ったらダメだよ。そこは気をつけた。

ジャグラー : せやな「勉強不足でした」なりなんなり、言ったほうがいいな。

くろ : ちょっと時間もらっても、ちゃんと考えてから答えてた。

ジャグラー : 観る専門の失敗したことは？

観る専門 : 暑さと焦りで汗が止まらなかった面接があった。あと、なんか実際の事例とかをもとに話が展開していくと聴く一方になっちゃうってことはあったな。政策とかの知識が「無」だったから、面接というか勉強だった。

のびしろ : それは俺もあった。必死にメモってた。

ジャグラー : 職員さんの話おもしろいもんな。

二日酔い : 政策の単語とかはわからない時が多々あったからめっちゃ困ったかな。でも、その都度聞けば詳しく教えてくれたからよかったけど。ただ、勘違いで違うこと言ってしまった時はヤバかった。理解してない雰囲気が漂った。

セブ島 : 気まずいな、、、

しろくま : 知らないことは、素直に聞いた方がいいよな。

観る専門 : 一度学んだことはその日の最後の面接までに整理したよね。面接で聞いたこと

は必死に思い起こしてメモ帳に書いた。

二日酔い : 面接の都度、終わったら見返してたわ。基本的知識と専門知識の境界がわからなかったからできる限りは面接の後に調べたかな。

セブ島 : 学生って実際の経験が無い中で政策とかを述べないといけないから難しいよね。

ジャグラー : ほんまそうよなー。知識でしか知らないもんな。セブ島は社会人経験を活かしたんじゃない？

セブ島 : やっぱり事業者の視点を持ってるっていうのが大きかったかな。それを知らないと政策もつukれないだろうし

しろくま : それは学生ではなかなか気づけないよね。

ジャグラー : なるほどなー！法律・政策を適用される側やもんな。

セブ島 : 無理やりでもサークル活動とかに結びつけると話しやすかったりするけどね！

観る専門 : 趣味の欄は話が広がるネタあった方がいいね。

のびしろ : 面接で政策の勉強もさせてもらったよ。ばーって資料渡されて、どういう法律がいいと思う？みたいな。

観る専門 : 的確な政策を提案するより、とにかく自分なりに考える姿勢が大事なのかなーとも思った。

観る専門 : くるはなんか、女性ならではの対策とかある？

くる : 女性ならではのことは特に意識はしてなかったかなー。確かに、待合室にいる理工系志望の女性の数は少ないとは思ってたけど、研究室に入った段階でも理系だとそういう傾向はあるなって思ってたから、気にしてなかった！

二日酔い : 女性で環境省って珍しいの！??それとも、ただ、理系は男性が多いから??

くる : 若い世代は結構女性職員も多いと思う！

話変わるけど、個人的に失敗したことは、集団討論かな！あの短時間で自分の意見をまとめて端的に説明するのがすごく難しかった。

セブ島 : グループディスカッション（以下「GD」という。）は面接とは違う緊張感あったよね。

観る専門 : あの緊張感が期間中で MAX だった。

のびしろ : 題材が考えやすくて助かった。

二日酔い : たしかに考えやすかった。ただ、答えがある感じではなかったね！

のびしろ : 何を見られてたんだろ？

二日酔い : ある日の最後の面接のときに採用担当の人と話したけど、理論的に話せるかとかを見てた感じのこといわれた！

セブ島 : 3人のGDはキツかったね、、

観る専門 : GDのメンバーとある程度仲良くなれたあとだったから少しやりやすかった。公務員試験で一度、経験あったのも大きかった。

ジャグラー : GDは民間就活の経験が活かしたかな

セブ島 : 他の省庁でもGDあるところはあったなー

しろくま : (春はGDなかったので黙ってます。)

観る専門 : 自信持って発言するのも大事ね。

セブ島 : 大きい声重要だよ(笑)

- のびしろ : そうかも。場をかき回しすぎて言われたけど今ここに残ってるし。
- ジャグラー : きみはのびしろ採用や(笑)
- くろ : ある意見に関して、良いと思う、ここはどうなのかっていうことを単に言うだけなら、批評家になればいいって話をされてかなり衝撃を受けた。
- 観る専門 : 実際、第 3、第 4 クールの面接も横にいる採用担当補佐の 3 人の視線が気になった。あの頃はひとつひとつの言動に大げさなぐらい反応してたね。
- くろ : それはすごく気になった！採用担当の方々が見てるのが、逆に緊張してしまった。
- 観る専門 : そう！でも、第 4 クールでフィードバックしてくれたよね！僕はそこでお辞儀の仕方を注意された。あ、これが失敗談や。
- 二日酔い : あれ、すごく身になった！照れ隠しの笑いはやめようって言われたわ。あと、英語でも短いけど話したわ。
- セブ島 : 口癖とかも指摘してくださったよね！
- 観る専門 : あと、けっこう何人か言われてたけど、声の大きさ。
- ジャグラー : 僕もお辞儀注意された。緊張して早口とか声小さいとかも。
- くろ : 確かに、フィードバックすごくありがたかった。困ったら笑う癖があるって指摘されてしまった。
- のびしろ : 俺敬語できないって言われた。
- セブ島 : 敬語は論外(笑)
- ジャグラー : 採用補佐の人らは味方よな。僕らがどうやったら進歩できるかアドバイスくれる。
- 二日酔い : 結局、第 4 クール以降は、採用担当の人は味方。
- 観る専門 : みんな、次回の約束はどういうかたちでもらった？
- しろくま : 電話かな。その日の最後の面接でなんとなくわかるけど。
- セブ島 : 最後の面接かメールだったなー
- くろ : 私は、前半メールで、後半電話だった気がする。
- 二日酔い : 後半は全て電話だわ。
- 観る専門 : 第 5 クールの案内で電話来なかった奴 ww
- セブ島 : 俺 1 人だけ電話無かったわー。次のクルールの案内方法はほんとに人それぞれなんだね！たぶん、
- のびしろ : めっちゃ焦ってたくせに。
- セブ島 : ほら！みんな内定もらえて良かった！

【環境省の面接中に困った質問はありましたか？】

- ジャグラー : 変化球（返答に困った質問）来た人おったらしゃべっとく？
- 二日酔い : 志望動機系統はあっさり終わって、税金の使い方とか民間との違いとかをぐいぐい聞かれた。あと、変化球ってほどじゃないけど、仕事めっちゃ大変でもやっっていける？って聞かれた。
- ジャグラー : とっても僕はあんまりなかったかな「ニュースとか本とか何についてでもいいので 3 分でつたえて」ってのがあったくらい。

- のびしろ : それあった。控え室で、みんなでイスラム国の勉強した。
- 観る専門 : 僕もそれ聞いて、天皇陛下の生前退位の勉強した。
- くろ : 私はそのとき読んでた本で、里山資本主義っていう話を簡単にまとめて話したよ。
- ジャグラー : 僕はフェンシング界における太田選手の大事さを話した(笑) ちなみに職員さんは「お、おおう、、、」みたいな反応やった(笑)
- 観る専門 : あ、僕もプロ野球を球場まで観に行くことの大切さを語った。
- のびしろ : 環境以外のことが聞きたいってことやからなんでもありやんね。
- ジャグラー : せやな、環境に関心あるのは当然としてそれ以外も話せるか、どんなことに関心あるかっていうのを見られてたのかもな。
- のびしろ : 俺は 1 番最初の面接で、避難されていた住民の方が除染が済んだ地域に安心して帰還いただくためにはどう説明したらいい?っていうのが困った。
- セブ島 : 除染関連の話題は俺もあったなー。
- くろ : わりとオーソドックスな質問が多かったと思う。

【環境省の訪問前後のイメージに変化はありましたか?】

- 観る専門 : 官庁訪問前後で環境省のイメージ変わった?
- しろくま : 業務の幅が思っていたより広がった。
- 二日酔い : みんな話しやすい人たちで和やかな感じがした。
- セブ島 : 中の人活き活きと働いてたなー! もっとギスギスしてるものかと思ってた!
- ジャグラー : 結構説明会とかインターンとか行ってたから、個人的にはあんまり変わらんかったかな……
- 観る専門 : はっきり言葉でどう変わったって言いにくいな。変わらないような、でも少し理解度は増したような。
- ジャグラー : なんていうんやろう、環境に対してアツい人が多いのは再確認できた!
- 二日酔い : たしかにそれある!!!
- ジャグラー : それは20人くらいに会う官庁訪問やからこそ感じ取れたところかもしれん。
- 観る専門 : たしかに業務に誇りをもってる職員さんはたくさんいらっしやった。
- くろ : 静かでもアツいものを秘めている人が多いと思った!
- ジャグラー : くろ、たしかに! 「心は熱く、頭は冷静に」って表現が合う人が多かった!
- 観る専門 : いい言葉がでたところでそろそろお開きにしましょうか。お粗末な司会で申し訳ありませんでした。